

鹿野山線の運行見直しに係る対応状況について

企画政策部

1 概要

鹿野山線について、日東交通株式会社から富津市に対し、利用状況等を踏まえた運行内容の見直しについて協議の申入れがあり、現在、運行見直しに向けた協議が進められている。

また、同社から、利用が少ない一部便について、令和8年10月1日から減便する旨の説明があった。

同路線は、主に富津市内を運行する路線であるが、鹿野山地区にお住まいの方の移動手段にも関わることから、本市としても、地域の生活交通の確保の観点から、日東交通、富津市、マザー牧場と協議を行っている。

(路線概要)

項 目	内 容
路 線 名	鹿野山線
運 行 事 業 者	日東交通株式会社
起 終 点	佐貫町駅～神野寺
主 な 経 由 地	マザー牧場
便 数	平日11便／日、土休日9便／日 (令和8年10月1日～) 平日8便／日、土休日8便／日

2 利用状況

令和8年4月に日東交通が実施した乗降調査では、鹿野山線の月間利用者数は733人、1日平均24.4人、1便平均2.35人であり、312便中162便が乗車0人となっている。

利用の中心は、佐貫町駅とマザー牧場の間の移動であり、同区間が約650人、全体の9割程度を占めている。一方、朝夕の生活利用は限定的であり、神野寺の乗降も月間31人とどまっている。

これらの状況から、現行の鹿野山線は、鹿野山地区住民の日常の生活交通というより、佐貫町駅とマザー牧場を結ぶ観光利用の性格が強いものと考えられる。

3 本市の対応

鹿野山地区においては高齢化が進んでおり、地域の実情に即した移動手段の確保が重要な課題である。

このため、鹿野山線の現行形態の維持に限定せず、君津駅方面へのアクセスの確保を含め、既存の君津・マザー牧場線の活用可能性を中心に、関係者と協議を進める。

4 今後のスケジュール（予定）

令和8年10月1日～ 一部便の減便

令和8年10月～12月 関係者とダイヤ、費用負担等を協議

令和9年 1月～ 3月 地元へ検討状況を共有

令和9年 4月～ 9月 運行内容の確定、運行手続、地元への周知等

令和9年10月～ 君津・マザー牧場線を活用した新たな運行開始を目指す
※進捗状況は、適宜、議会及び地域公共交通会議に報告